

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2021. 2
No.330

新型コロナウイルス禍の中でいかに生き残るか

2020年に突然新型コロナウイルスが発生し、世界中がパンデミックになり、現在は新種・変種のコロナウイルスが発生し第3波の最中です。海外ではワクチン接種も始まりましたが終息までにまだ2年くらいかかりそうな予感があります。

イナテックは、この自動車業界の「100年に一度の大変革期」に巻き込まれていることと、この新型コロナウイルスで社会構造がどのように変わるか非常に不透明な時代を突っ走っています。

そのような環境の中で、イナテックとして急がなくてはならないのは昨年3月4月のときに経験した、突然売上高が50%ダウンした経験です。あの経験は今まで一度もありません。

せんでしたし、全世界が一度にパンクになったのも初めてでした。

その後、自動車業界の景気は回復してきましたが、これからは昨年のようなパンデミックが起きた時でも耐えられる体質を一日でも早く作らなければなりません。

つまり売上が50%ダウンとまでいかなかったとしても30%ダウンしても(70%操業)利益が出せる体質にしておかないとイナテックが潰れる危険性があるということです。

対策は、固定費低減と固定費の変動費化です。また、「一本足打法」から「両利きの経営」にすること。そしてその手段として、デジタル革命をしなければならぬことです。

経営の役割を明確化

今までのイナテックの経営は、私(社長)が3つの帽子を一人で被って経営をしてまいりました。しかし、これからの経営は、

株主の役割

取締役の役割

執行役員の役割

と責任を明確にすることにより、経営のスピードと仕事の中身を向上させていきます。

つまり株主(イナガキファミリー)は、取締役の選任を行い、取締役は経営の監督と意思決定を行う者であり執行役員の監督をする義務があります。

また執行役員は直接経営の執行をし部長以下のオペレーションをし効率良く利益を生み出す責任と義務をもっているのです。

そしてどんな新型コロナウイルス禍の中でも利益を出し続け、納税をして新型コロナウイルスで職を失った人たちや恵まれない人たちを助ける必要があります。それが恵まれた企業の義務であると考えております。だからみんなして頑張ろう。です。

2021年の組織体制 (両利き経営に向けた体制づくり)

2021年の組織はまず担当役員の守備範囲と結果責任を明確にいたしました。

特に、DX推進課を設け、経営システムを刷新すると同時に将来的には、すべての仕事をつなげ一元管理が出来るようにすることです。2025年くらいをめどに完成させ体質強化のスピードを上げてまいります。

次に「経営戦略課」を新設いたしました。経営戦略課はイナテックグループの3年先、5年先、10年先を考える部署です。考えを毎月チェック

クしながら、微修正を行いローリングを行いま
す。

明日は誰しもわかるものではありません。し
かし「考え」なければ何も事は起りませんし、
チャンスが来ても捕まえることができないのは明
解です。

例えば、「カーボンニュートラルの世界」「EVの
世界」「アップルカー出現」等々超現実として差
し迫って来ております。イナテックも決して避け
て通るわけにはいかない事なのです。

それを「自分の頭で考える」もちろん、ありと
あらゆる情報の行動計画を立て実行するしか
ありません。

更に「財務課」をイナテックホールディングス

から独立させたことです。経営で一番重要な
は「お金」です。その「お金」をどのように運
用・活用するのか。その前にどのような利益を
出して「お金」に換えるかが非常に重要です。
財務という視点から専門部署を作りイナテッ
ク体質強化を成し遂げます。

以上が2021年の組織体制の考え方です。
御協力をお願いいたします。

九二

聲妓晩景從良、一世之烟花無碍。貞婦白頭失守、半生之清苦俱非。語云、看人只看後半截。眞名
言也。

浮き名を流した妓女でも、晩年に縁を得てよく夫に仕えたならば、それまでの浮いた暮らしも
妨げにはならない。(これに反して)、貞節な妻でも、白髪になってから操を破ったならば、それ
までの清い苦勞も水の泡になる。ことわざにも、「人の値うちを見るには、ただ後の半生を見る
だけでよい」と。まことに名言である。

